

山岳ぐんま

群馬県山岳連盟

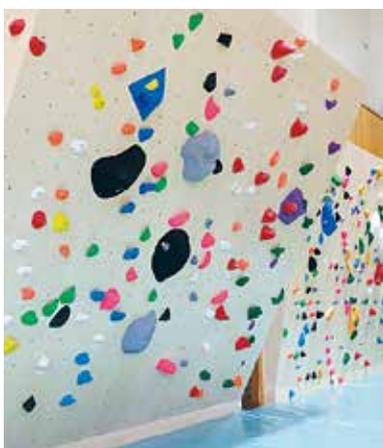
発行人：吉田直人 / 編集人：根井康雄

〒371-0031 前橋市下小出町2-46-1 (小池寛喜方) tel 027-235-9247 E-mail: tomoyoshikoike3810@gmail.com



top News

ボルダリングウォールが完成 ヤマト市民体育館前橋



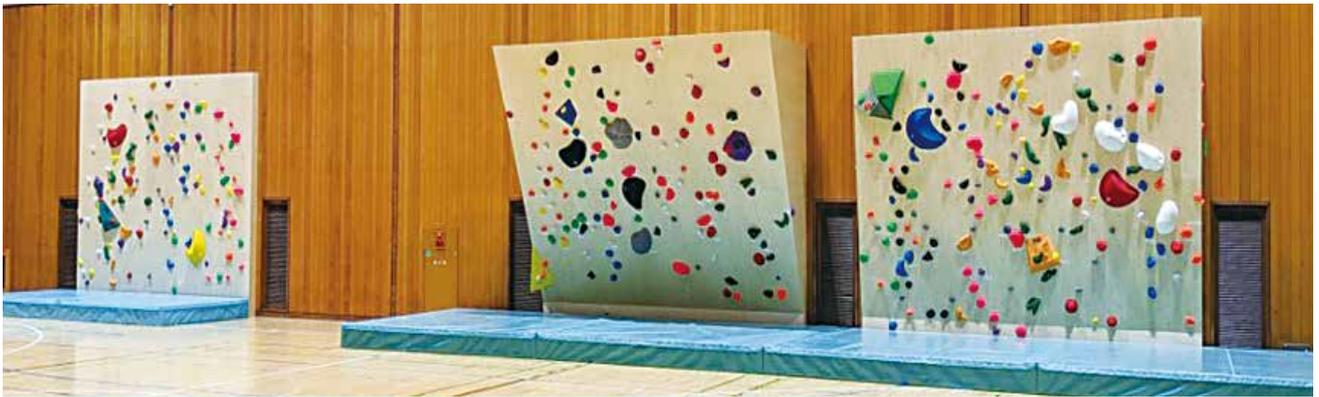
完成記念事業 トップアスリートによるボルダリング教室

ボルダリング教室を開催 小中学生45人が体験

前橋市のヤマト市民体育館前橋(上佐鳥町)にボルダリングウォールが完成し、3月27日、完成記念事業「トップアスリートによるボルダリング教室」が開かれました。

前橋市内に住む小学1年生から中学生まで45人が参加し、トップアスリートの平山ユージさん、安間佐千さんほか、コーチ陣の指導の下で、クライミングの基本を実地で学びました。

最初は不安気な子どもたちも、トップアスリートの指導で、垂直以上の壁にもすぐに慣れ、3つのウォールをローテーションし、徐々に難しいルートにもチャレンジ。ボルダリングの楽しみに浸っていました



「ボルダリングの日」に一般開放

完成したウォールは同体育館の副競技場であり、90度面、100度面、115度面の3面があります。同体育館では気軽にボルダリングに親んでもらえるよう、4月8日から、月に2日から5日の特定日をボルダリングの日とし、一般の利用を呼びかけています。ボルダリングの日は月によってかわります。

利用時間は18時から21時までで、当日16時までの事前予約制となっています。料金はおとな310円、中学生以下100円です。また貸し切り利用も可能です。詳しい問い合わせと予約は同体育館（電話027-265-0900）まで。

*ヤマト市民体育館前橋 <https://www.maebashi-cc.or.jp/shimintaiku/>

コラム [嶺 呂] 4

機関誌『嶺呂』の思い出

太田忠行



題字 浜名一雄

創刊号 昭和49年10月1日
 発行者 群馬県山岳連盟
 〒371 群馬県前橋市大手町1-1-1
 TEL (0272)23-1111 内線519・520
 群馬県観光課内
 編集者 群馬岳連編集委員会
 責任者 太田忠行
 印刷所 ㈲高橋印刷
 定価 1部50円

佐藤副会長が『嶺呂』について書いている。

よくぞ思いながら記事を読んだ。岳連の常任理事会で石井謙一郎理事長から機関誌を出そうと提案され、私にやれとの下命があった。私が責任者になって、編集委員を川辺柳一さん、悴田正也さんをお願いし、あれこれ議論したことを思い出す。

第1号の編集後記に「ようやく機関誌『嶺呂』を出すことができた。かつて、昭和32年12月10日に群馬岳連報の創刊号が出、翌年6月15

日まで3回続いたことを知る人も少なくなったようである。その創刊号に曰く機関誌を発行すべし声を聞くこと既に久しいと。時は流れ、時代は変わっても、変わらぬものは何事もやる気力ではないだろうか。内容はともかく、先ず発刊することに努力した。思いを新たに、長続きさせることを祈りつつ創刊号とした次第である」と書いた。川辺さんは「願わくばこの会報が事務所でゴミ箱に直行することのないように……」、悴田さんは「見出し・割りつけ・ゴチッ

ク活字・三段抜き等々、久しぶりの新聞編集なので……素人の集団ながら、意気込みは盛んです」と載せた。

そして「嶺呂」のいわれは毎号載せることにして皆さんに周知させ、岳連の行事や考え方、各山岳会の行事等岳人の活動・動向をくまなく知らせて活性化を図った。群馬岳連ここにありと意気軒昂であったところが偲ばれる。『山岳ぐんま』に変わっても原稿集めの苦労は変わらない。長続きすることを願い、皆さんの努力に感謝している。

2022年度 自然観察会の開催案内

赤城山 「東面の花咲く尾根」～由緒正しき登山道を感じながら～ 5月29日(日)



アカヤシオ咲く尾根



集合場所とコース概略

自 然保護委員会では、毎年1回、春から初夏にかけて自然観察会を開催しています。令和4年度の観察会は、令和2・3年度に企画しコロナ禍で中止となっていたもので、5月29日(日)、赤城山「東面の花咲く尾根」を登ります。

赤城山東面のコースは、桐生市黒保根町からのアクセスで、自家用車が無いと入山しづらい場所になっていることから、比較的入山者の少ないエリアです。しかし、駐車場やトイレが整備されたキャンプ場が設置され、豊かな自然を感じることが出来る場所です。

赤城山はツツジの観光名所として関東圏でも名高いところで、今回企画している利平茶屋からのコースは、その中でもわれわれ登山者だけが味わえる、とっておきのコースと思われます。ツツジの名所とは言え、その年ごとの気温

や降水量の変化で、事前にベストな訪問日を設定するのはなかなか難しいのですが、標高を変えながら歩いて最も状態の良い場所を楽しめるのは、登山者の特権とも言えるでしょう。

このコースは、足元の不安定な痩せ尾根あり崩落しそうな沢ありで、登山初心者だけで入山するには安全面でお勧め出来ない場所です。山岳連盟主催の企画であれば安心して参加していただくと、2回の中止を経ての開催を計画しています。

新型コロナウイルスの脅威がいつまで続くのか不透明なところでもあります。開催を期待してお申し込みをお待ちしています。

詳しくは岳連ホームページをご覧ください。

自然保護委員会 一同

雪崩レスキュー講習会

遭難対策委員長 町田 幸男



マスクと仕切りで室内講義



吹雪の中でのラインプローブ



スノーマウント作成



ビーコン搜索とプロービング

令和4年2月19,20日(土,日)みなかみ町土合山の家にて2年ぶりに雪崩レスキュー講習会を実施した。コロナの影響もあり参加者は定員12名に対し9名であった。今回はオブザーバーとして19日のみ吉田会長にもご参加いただいた。講師は主任講師：町田幸男(Σ)講師：毛呂憲治(前橋)、石橋修(独峰)アシスタント：町田雅美(Σ)の4名で対応した。

1日目は室内での講義を中心に行った。まず、雪崩事故の現状と雪崩の発生メカニズムについて学習した。

雪崩事故の大半は2名以上の場合が多く、複数名での事例が60%以上を占める。よって、搜索スキルについても複数埋没への対応が必要となってくるため、1名埋没でのビーコン搜索を確実にこなせることが必須となる。今回の講習ではビーコンの歴史の変遷からそれぞれの機種の特徴や構造や特徴、磁界特性を考慮しての操作手順や埋没が深い場合への対応等時間をかけて講義した。午後の実習ではビーコンのグループチェックから始まり、搜索手順の基本であるシグナルサーチ、コースサーチ、ファインサーチについて理論的な講習を行い、確実にビーコンの埋没位置を特定できるよう指導した。講習生からは「今まで行っていた搜索方法が全くでたらめだった」との声も聴こ

えた。

実習の後は屋内に戻り実際の現場での一連の搜索手順について学習した。この日は最後に低体温症について勉強して講義を終了した。いつもであれば夜は楽しい情報交換会を行うところだが、ご時世を鑑み皆さんにはおとなしく自室に戻っていただいた。

2日目は朝から屋外での実習である。ビーコン搜索による一連の流れを確認した後、プーロービングとショベルによる掘り出し、Vコンベアについて学習した。どこの講習会でも見られるのだが、どうしてもウエイトがビーコン搜索に集中しがちである。実際の現場では10分を目標に埋没者の気道確保まで行わなければならない。なので、時間配分としてはビーコン搜索を2分以内、プロービングを1分、掘り出しを残り7分で行うよう心掛けたい。プロービングはとても重要で、埋没者の位置と正確な深さを特定するものである。幅25cmで行うスパイラルプローブを基本とする。今回は遺留品の周りを搜索するスポットプローブや、人海戦で行うラインプローブについても学習した。続いて悪天候でのシェルターの作成、ザックとツェルトを使ったスノーマウントについて学習した。2班に分かれてそれぞれのスノーマウントを作成し出来栄を評価した。

昼休憩の後、今回の講習会の集大成としてシミュレーションを行った。まずは1名埋没への対応、そして2名埋没の搜索を体験していただいた。救出にあたる人間の数も、自分のパーティーのみで行う場合や通りがかった他のグループの協力を得ての対応など、より実践に沿っての講習を行った。最後に4名埋没で2名がビーコンを所持、2名がビーコンを持っていない想定でのシミュレーションを行った。今回の参加者にはさぞかし難問だったと思う。複数埋没に対応するためには様々なスキル、救出の順序を決めるトリアージなどが必要になる。特にビーコンを所持していない場合は如何に搜索が困難か、ビーコン所持の重要性を痛感頂けたと思う。複数埋没の上級編はまたの機会にした。

皆さん、講習会でのビーコン探しはそろそろ卒業して如何にしたらより早く、1人でも多く救出出来るのか考えてみてほしい。

今回はコロナ禍ということで講習会の開催にあたっては感染防止に色々気を配り、会場の土合山の家にも大変ご協力いただきました。山の家では昨年からお風呂をリニューアルしました。露天風呂も完備した「湯吹き湯」源泉かけ流しです。機会がありましたらぜひ立ち寄ってみてください。

【感想】

日本山岳会群馬支部 星野 弘美

1 日目午前中は室内座学で雪崩事故の現状などとビーコンについて学び、午後は屋外でビーコンとプローブの実習、その後座学で低体温症について学びました。ビーコンは多種多用で私の持参したビーコンは初期型で操作が難しく、主任講師の町田さんからお借りした新型マムートの機能、使い易さに驚きました。

2日目は屋外でグループ別に捜索から掘り出しまでの流れをシミュレーションで学習し、またスノーマウントというシェルターを作りました。埋没から10分以内に呼吸確保しなければ生存救出は難しく1分1秒を争います。まずはビーコン操作をマスターし定期的な訓練を重ね身につける事とリーダーの指示のもと周りの協力が重要であると実感しました。今回自ら希望し、実際に雪に埋めてもらいました。全く身動きがとれず埋没の恐ろしさを体感しました。毎年多くの雪崩事故を耳にする中で、自分と仲間が笑顔で帰れるよう今回習得した知識を活かし更に学んでいけたらと思っております。

今回ご指導いただいた主任講師の町田さんをはじめ講師の皆様、そして一緒に学んだ参加者の皆様大変お世話になりました。

群馬独峰会 中崎 裕朗

昨シーズンより本格的に雪山登山を始め、その際にアバランチギアを購入しました。ビーコンを始め、一つ一つのギアが命に関わるものと自分に言い聞かせながら、値段のこともよりも少しでも良いものを買って揃えました。だけど、揃えたことで自己満足し、それらを実際に有効に用いる知識や経験が無いのに、どこか雪崩対策をしている勝手な思い込みをしていたと思います。また何冊の書籍や雑誌やネット上での情報、所属している山岳会でアバランチ講習。そういったことを通じて一通りの知識や扱い方を知っているつもりでした。しかし、今回の講習会を通じて、いかに自分が雪崩について、自分が山行中に雪崩に遭遇した際、実際にアバランチギアを使用できる知識や経験が圧倒的に無いことを思い知りました。

アバランチギアは。出来たら使う機会がない方が良いギアである矛盾を抱えた道具です。そもそも登山自体がそういった性質を内包した行為であり、そこには命を落とす危険が必ず存在しています。命だけのことを考えたら山には登らない方がよく、雪山なら尚更そうです。それでも、ある者たちは山に魅せられ、危険があると知りながらも山に登ります。そして何処かで自分は遭難したり、雪崩に会うことは無いという根拠のない思い込みを持っていたりします。しかし、いろいろな矛盾を抱えた登山をする以上、出来るだけの命を失いかねないことに対する対策や準備をするのは登山をする者の義務だと感じます。また、雪崩を始め事故は出来るだけ起きない方が良いことであるが、起きた時に出来る限りの対処が出来るように定期的に訓練することは本当に必要であるという事を今回の講習会を通じて痛切に感じました。そんな貴重な機会を与えていただき、今回の講習会に参加出来たことを心から感謝しています。

沼田市 金井 智弥

私 は3年前からバックカントリースノーボードを始めました。それに合わせて三種の神器（ビーコン、プローブ、シャベル）を買って、バックカントリーへ行くときは常に携帯しておりました。ビーコンの使い方は本などで勉強して、一応理解しているつもりでいました。しかし今回の講習を受け、全く理解していなかったことを痛感しました。例えば、コースサーチの段階でゆっくり動き、ファインサーチではさらにゆっくり動くということは、たとえ知識として理解していたとしても、どのくらいゆっくり動けばいいのかは実際に教えていただかなければ分かりません。事実私は、ファインサーチはこんなにゆっくり動けばいいのかと大変驚きました。それ以外にも、プロービングや掘り出し、複数埋没や深埋没の捜索、リーダーシップとフォロワーシップについてなど、教えていただいたこと全てが実践的な講習内容でした。もし私が講習前に雪崩の現場に居合わせたとしても何もできなかったと思います。我々のような一般人は雪崩捜索を実践で身につける機会はありませんので、このような実践的な講習会に参加できてとても有意義でした。ありがとうございました。

弱電工事承ります。
電話工事、ネットワーク工事及びセットアップ(LAN 及び Wi-Fi 環境)、
TV アンテナ及びケーブル工事
パソコンで悩んでいませんか？
ソフトの使い方はわかりませんが、ハードの悩みは相談してください。
(難しい故障の場合は外注となります。)

ミヤマネットワーク

代表 佐藤 光由

群馬県前橋市高花台 1-6-5

電話 027-269-1143 携帯 090-8842-2158

個人会員 2022 年度新規会員募集

群馬県山岳連盟では、個人会員を募集しています。安全登山の普及活動の一環として自立した登山者を育成し、安全登山の啓蒙に努めます。

山の勉強会（座学）を年 11 回、実技登山を年 11 回、他にステップアップ研修会などを実施します。会員数（2022/03）は 58 名（男 31 名、女 27 名）です。

参加資格：山岳連盟未加盟の 18 歳以上で、登山を始めたい人や登山を楽しんでいる人

年会費：群馬県山岳連盟会費（登録料）5,000 円 / 年

その他 山の勉強会参加費 500 円 / 回（教材費）、実技登山参加費 1,000 円 / 回

※交通費、宿泊費等がかかる場合があります。

申込・問い合わせ：E-mail:tsubakura2763@gmail.com（個人会員委員会 根岸 まで）



雪上訓練

2022 年度 活動計画（予定）

山の勉強会

4月	夏山装備
5月	ナビゲーション
6月	コンパスワーク
7月	登山計画
9月	ツェルト・テントの張り方／幕営技術
10月	ロープワーク
11月	雪山装備／リスクマネジメント
12月	ファーストエイド
1月	雪崩の知識
2月	体力づくり
3月	全体会議とミニ勉強会

実技登山

歩行技術（八束山（城山）・朝日岳）
ナビゲーション（赤城山 大猿川周回）
コンパスワーク（小野子山）
自然観察（谷川岳）
ツェルト・テントの張り方／幕営技術（野反湖周辺）
ロープワーク技術（岩櫃山）
ファーストエイド（鹿岳）
原三角点を訪ねて（稲含山・白髪岩）
雪山入門（上州武尊山）
スノーシュー体験（玉原高原）
雪上訓練（谷川岳マチガ沢）

日山協山岳共催会山岳保険のご案内

1. 個人契約保険

日山協山岳共済会会員になることで誰でも入れる保険です。
(山岳保険のご案内(2022年度版)《団体総合生活補償保険(MS&AD型)》)

- ・登山コース
- ・ハイキングコース
- ・トレランコース
- ・スポーツクライミングコース

山岳共済会の保険は下記のすべてをカバーできます。
※加入タイプによって補償内容が変わります。

1. 登山中に遭難し捜索・救助費用が発生したとき
2. 登山中にケガをしたとき
3. ケガにより死亡されたとき
4. ケガにより後遺障害が残ったとき
5. ケガで入院されたとき
6. ケガで手術を受けたとき
7. 自転車で走行中、歩行者にぶつかりケガをさせたときなど

〔例〕登山コースの保険タイプの内容(2022年度登山コースの保険タイプの内容)

保険金額	契約基本タイプ					
	1S	S	1C	C	1D	D
タイプ名						
傷害死亡・後遺障害	100万円	100万円	250万円	250万円	500万円	500万円
遭難捜索費用	100万円	100万円	200万円	200万円	300万円	300万円
傷害入院保険金日額	1000円	なし	1500円	なし	2000円	なし
傷害手術保険金	○	なし	○	なし	○	なし
傷害通院保険金日額	500円	なし	700円	なし	1000円	なし
日常生活賠償	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円
年払保険料	7330円	4450円	12430円	8290円	18570円	12820円
共済会年会費	1000円	1000円	1000円	1000円	1000円	1000円

「登山コース」は、ピッケル、アイゼン、ザイル等の登山用具を使用する登山中(フリークライミングを含むロッククライミング、冬山登山等を含みます。)の事故が対象です。

- 「登山コース」の遭難捜索費用は、疾病が原因でも支払い対象となります。
- 「ハイキングコース」は前記の登山用具を使用しない登山(ハイキング等)中の事故が対象です。
- 「ハイキングコース」は屋内でのクライミング、屋外の人工壁におけるクライミングも補償します。
- 「登山コース」と他のコースのご加入もいただけます。
詳しいことは、下記からご確認ください。

日山協山岳共済会

ホームページ: <https://sangakukyousai.jp>

2. 団体契約保険

岳連主催の行事では「JMCSA 包括保険」が利用可能です。
「加盟団体向け講習会、競技会向け、包括保険」(短期国内旅行傷害保険(国内旅行傷害保険一般包括契約))

岳連で年間の事業計画を提出し、主催するスポーツクライミング競技会、研修会や講習会に参加する選手、セッターおよび研修会・講習会の指導者と参加者に付保する保険です。この保険は遭難捜索費用については補償されませんのでご注意ください。

詳しいことは、下記からご確認ください。

<https://www.jma-sangaku.or.jp/hoken/?ca=46>

1. および 2. についてのお問い合わせ群馬県山岳連盟担当者(事務局:小池)へ。



株式会社エーアールアイ

東京都練馬区上石神井 3-18-1

TEL 03-5991-4638

群馬の山

5

子持神社から浅間山周回コース 子持山

難易度 B / 体力度 2

若人のみち駐車場 → 〈0:05〉子持神社 → 〈0:55〉

登山道入口 → 〈1:00〉獅子岩（登り口分岐）

→ 〈0:55〉子持山 → 〈1:20〉浅間山 → 〈1:25〉

子持神社 → 〈0:05〉若人のみち駐車場

2万5千分の1地形図「沼田」「鯉沢」

赤城山、榛名山と共に古くから親しまれてきた山である。適季は新緑または紅葉の時期だが、落葉期も展望がきき爽快だ。渋川市、沼田市、高山村からそれぞれ登山道



子持山山頂、遠く日光白根山を望むがある。ここでは山の名前を冠していた旧子持村（渋川市中郷）にある子持神社から登るルートを紹介する。ルー

ト中では獅子岩（大黒岩）を火山岩頸（噴火口の痕跡）とし、屏風岩など放射状に延びる岩脈などの火山の内部の様子を観察できる。駐車は子持神社から徒歩5分ほどの子持山若人のみち駐車場の利用が推奨されており、そこから出発する。なお、関越交通バス（沼田駅経由中山本宿線）寺尾バス停を登山口とする小峠コースも整備され、高山村中山にある県立ぐんま天文台からの道とともによく登られている。

「群馬の山歩きベストガイド

安心して歩ける 126 コース」



定価 1400 円 + 税
ISBN978-4-86352-249-7

群馬県山岳連盟と日本山岳会群馬支部、群馬県勤労者山岳連盟による群馬県山岳団体連絡協議会の編集で、上毛新聞社から発売中。お求めは岳連総務委員会へ。県内外の書店でも好評販売中。

後編 編集集

3 月27日、ヤマト市民体育館での小中学生を対象にした、ボルダリングウォールのこけら落としを兼ねた「ボルダリング教室」取材（1面）。なによりも子どもたちの真剣な様子に感激。一生懸命にホールドをつかみ、壁を登る子どもたちを見て、一緒に見学した教育関係の山仲間と、小中学校の体育館にもぜひこういう施設を作ったら良いのでは、などと語り合いました。運動としてももちろんですが、子どもたちが一心に挑む場としては「まさにこれだ」、と直感。今の子どもたちは「ゲームばかりやって」などという前に、考えることがあるようです。



(有) 山とスキーの店 石井

DreamBOX

伊勢崎市宮子町 3448-2

TEL 0270-21-8025 FAX 0270-21-8026